

本気(マジ)で地域を支える

最期まで地域で
楽しく『生きる』をつくる福祉



ともに生き
ともに学び
ともにささえ合う

社会福祉法人

くらしの

ハーモニー

2025 Recruit

本気（マジ）で地域を支える

年を重ねたとき皆さんならどこでどう「暮らし」たいですか？

一度ご両親や、おじいさんおばあさんなど、身近な方に尋ねてみてください。

私たちは、

最期まで地域で。『楽しく生きる』をつくる福祉を事業のコンセプトに

京都伏見 宇治の街で高齢・地域事業を行っています。

■在宅にいる方には在宅の限界点まで支え、

■地域に帰る可能性のある方は帰れるようにサポートし、

■入居された方は今まであったつながりを切らない。

私たちはたんなる介護屋でもなく、地域のイベント屋でもありません。

私たちは、ともに『本気（マジ）で地域の暮らしを支える』仲間を募っています。



法人概要

社会福祉法人くらしのハーモニー

設立 1994年9月28日

事業拠点 京都府宇治市 3拠点

- ・ハーモニーこはた：京都府宇治市木幡金草原43番地
- ・ハーモニー東風館：京都府宇治市木幡金草原14-4
- ・ハーモニーやまはた：京都府宇治市木幡北山畑23-1

京都市伏見区 2拠点

- ・ハーモニーこが：京都市伏見区久我森の宮町 3 - 6
- ・ハーモニーこがなの家：京都市伏見区久我石原町 1 - 4 1

事業活動収入 12億5938万円（令和4年度決算）

事業内容 ①通所介護【1か所】②居宅介護支援（ケアプラン作成）【2か所】

- ③地域包括支援センター（宇治市委託事業）④訪問介護⑤小規模多機能型居宅介護
- ⑥定期巡回・随時対応型訪問介護看護⑦認知症対応型グループホーム
- ⑧サービス付き高齢者向け住宅【2か所】⑨介護老人保健施設⑩短期入所療養介護
- ⑪通所リハビリテーション⑫訪問リハビリテーション⑬地域密着型特定施設
- ⑭認知症対応型デイサービス⑮介護職員初任者研修

職員数 300名（常勤 非常勤）

正規職員 127名



ともに生き



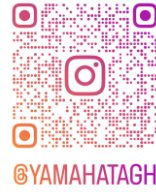
ハーモニー東風館にて
くらしのサポートステーションスタッフの正体。
実は・・・王子

ハーモニー
やまはた

ハーモニーこがなの家

認知症対応デイ

特定施設



23卒 新入職員 入職後約半年たったところ・・・
仕事や生活にも慣れてきた？



利用者の得意を活かして・・・
サンドイッチづくり・・・

早出勤務お疲れ様！勤務終わりに直撃



iPadに記録を真剣に入力中・・・
のところを写真撮影

ともに学び



2024卒 内定式

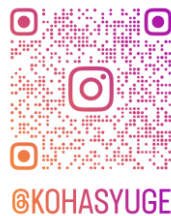


入職 2年目 1年目 合同研修の様子



入職 2年目 1年目 合同研修の様子

ともにささえ合う



@KOHASYUGE



Kohasyuge
Instagram
アカウント



SORAカフェ 地域のママさん
ブラスバンドサークルの演奏



地域 学区福祉会との共催
公園サロンに参加する学生さんたち

小学校 5年生の授業協力
まちの中のバリアフリーを探そう





2021年入職

介護老人保健施設ハーモニーこが配属研修6か月⇒同一部署にて正式配属1年4か月⇒ハーモニー東風館くらしのサポートステーション 介護職兼オペレーター

前川奈々 社会福祉士 同志社大学卒

認知症×地域

大学では地域福祉に興味を持っていた。祖母が認知症になり施設で最期を迎えたが、認知症になっても家で生活できないのかと疑問に思った。ハーモニーは地域とのつながりを大切にしている、認知症と地域を掛け合わせでも面白いかなと感じた。

2021年入職

ハーモニーやまはた認知症対応型共同生活介護配属研修6か月⇒同一部署にて正式配属 介護職

山下紗世 介護職員実務者研修修了

鳥取大学卒

福祉に就職する＝ ハーモニーに就職する

大学では地域について学んでいた。就活を通してこの法人で行っている地域活動は自分の勉強したことにつながると感じた。また、人と関わる仕事をしたいと考えていたので自分に合っているのではと思った。私にとって福祉の仕事を選ぶ＝くらしのハーモニーを選ぶことと一緒にだった。



2021年入職

介護老人保健施設ハーモニーこが配属研修6か月⇒同一部署にて正式配属7ヶ月⇒認知症対応型通所介護ハーモニーこがなの家 介護職兼生活相談員

恵木 菜充 介護福祉士 桃山学院大学卒

いざというときに 地域の方から頼ってほしい

認知症対応型通所介護こがなの家が地域と関わり続けているのは、ここがどのようなところか知ってもらいたいから。とにかく認知症の方を正しく理解してほしい思いがある。普段から関わりを持ち、地域を盛り上げていきたい。そして、いざというときにこがなを頼ってくれたら嬉しい。



マイナビ2025 先輩情報



FUKUSHI meets!

法人理念

“ともに生き ともに学び、ともに支えあう”
高齢者、障がい者、子どもたち、
誰もが住み慣れた地域でお互いに学び合い、
困った時には助け合い、
ともに暮らせる社会・地域をつくります。

法人ビジョン 中長期経営計画 2022～2024年度

① 最期まで地域で暮らせる住まいとサービスの整備

- 1 24時間ケアサポートシステム構想
- 2 臨床現場実践を共有・研究し社会に活かす
- 3 在宅強化型老健の地域支援能力を強化する
- 4 横断型ソーシャルワーク体制の設計
- 5 複雑化するニーズに応える新規事業提案
- 6 権利擁護および法人後見事業の研究

② 「支え手」「受け手」を超えてつながる「地域共生社会」を実感できるような地域活動を推進する

- 1 住民活動のサポート
- 2 地域貢献活動の進化
- 3 地域の人や情報が交わる仕組みづくり
- 4 インフォーマルサービスの協力支援

③ 福祉を支える人をつくる

- 1 成長型組織としての強度を高める
- 2 24時間ケアや相談支援機能をはじめ多様な職種が成長できる職場環境
- 3 学生や若者との「関りしろ」の創出

④ 暮らしを豊かにする取り組みや地域実践を可能にする経営基盤の確立

- 1 収益確保（11.5億円）とコスト管理による収支コントロール
- 2 感染症や災害に対応できる運営管理
- 3 建物、設備の維持管理

くらしの

ハーモニー

事業マップ

軽度・自立

各サロン活動

学区福祉委員会

坂のまちプロジェクト

こころ健康
カフェ

元気高齢者

ラルゴ・
パワーアッ
プこはた

地域包
括支援
セン
ター

通いの場

デイサービス
老健通所リハ

要支援

施設

軽介護

地域

老健
長期
入所

老健
ショート

在宅超
強化型
算定

認知
症対
応型
デイ

この家
サー
ビス
付高
齢者
向け
住宅

小規
模
多
機
能

東風館
サー
ビス
付高
齢者
向け
住宅

訪問
リハ

訪問
介護

居宅
ケア
マネ

認知
症対
応型
グル
ープ
ホーム

地域
密着
型特
定施
設

重介護

定期巡回・随時対応型訪問
介護看護

重度

最期まで地域で。 「楽しく生きる」をつくる福祉

- ・ 在宅にいる方には在宅の限界点まで支え
- ・ 地域に帰る可能性のある方は帰れるようにサポートし
- ・ 入居された方は今まであったつながりを切らない

子どもたちから専門職養成まで

保育園 幼稚園との交流事業 小学校

- 認知症サポーター養成講座講師派遣
小学校の授業の一環で街探検
- ・京都市立神川小学校
 - ・京都市立久我の杜小学校
 - ・京都市立横大路小学校



中学校

- 職業体験授業の受入
- ・京都市立神川中学校
 - ・宇治市立木幡中学校
 - ・宇治市立北宇治中学校



高等学校 SDG s 研修

- ・立命館宇治高等学校
- ・京都府立八幡支援学校福祉総合科

大学 専門学校

- 社会福祉士実習
- ・京都府立大学
 - ・龍谷大学
 - ・花園大学
 - ・同志社大学
 - ・種智院大学
 - ・京都医療福祉専門学校
 - ・大原簿記専門学校
 - ・京都医健専門学校

- 作業療法士実習
- ・佛教大学
 - ・関西医科大学
 - ・京都大学

- 理学療法士実習
- ・京都医健専門学校

専門職実習

- ・京都府リハビリテーション専門職受け入れ研修
課題別：介護老人保健施設におけるリハビリテーションに関する研修
- ・京都市認知症リーダー研修 実習受け入れ



研修制度

入社後半年は配属研修を行います。

業務メンバーに組み込まず、下記の目標のもと、研修を行います。

業務を覚えるのではなく支援の本質を理解してほしい…そのような思いで毎年試行錯誤しながらプログラムを作成しています。

- 1.法人理念と臨床実践の確認
- 2.日勤中での支えあい、悩みが相談できる環境
- 3.利用者と信頼関係を築く

介護職員 実務者研修受講

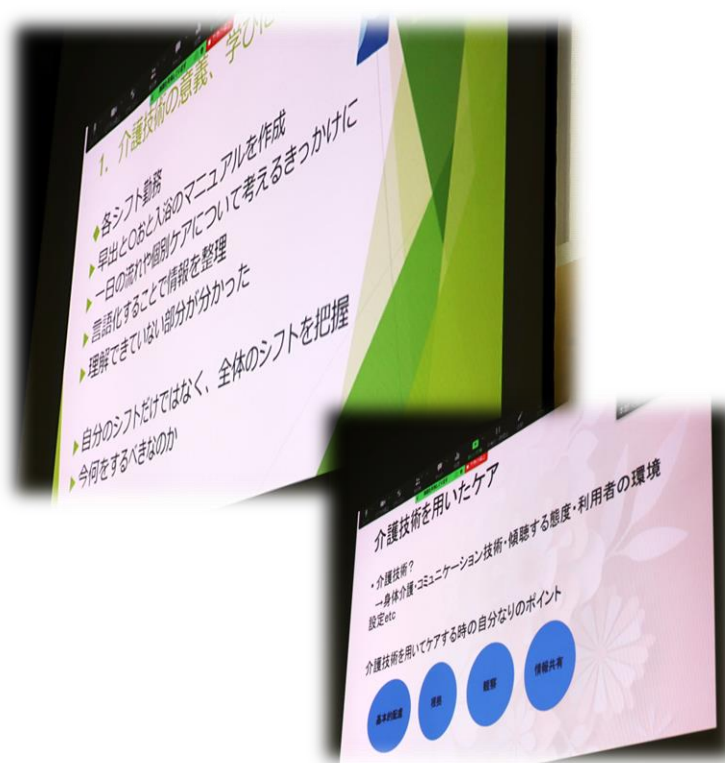
入社後6か月間の配属研修

入社時
研修
2週間

3か月目
振り返り

本部
広報・人材開発チーム
担当者による面談

6か月目
振り返り



正式配属

異動

働き方についての
ヒアリング

2等級以上階層別研修【一例】

全国介護老人保健施設大会
全国グループホーム研究大会
法人内研究発表会 など

面談者研修
人事効果者研修
給与制度研修..

認知症リーダー研修
キャリアパスリーダー研修
介護福祉士実習指導者
OJT指導者研修

介護福祉士実務者研修受講支援
社会福祉士受験資格取得支援
精神保健福祉士受験資格取得支援
プレゼン力向上研修
FUKUSHI remeets!研修

⑥統括
マネジャー

⑤マネジャー

④指導職

③指導職の
補佐

②小チームを
まとめる
リーダー

①安心安全に
利用者への
ケアができる

キャリアパス管理者研修
認知症指導者研修
メンタルヘルス研修
OJT指導者研修
雇用管理責任者講習会
成長記録シート面談者研修

認知症実践者研修
キャリアパス 中堅研修
社会福祉士実習指導者
介護福祉士実習指導者



成長記録シート

中堅職員の底上げをしっかりとしたい。
 経営陣の思いはどこまで届いているのか？
 スタッフに何を求めているのかを伝えているのか？
 スタッフの声を聴けているのか？
 話さないと伝わらない。
 話さないと気付いてあげられない。

成果が曖昧な福祉支援の現場だからこそ対話は大切です。

そんな「対話を大切にしたい」という思いを込めて作ったシートです。

年に1回～2回の面接を実施しています



部門ミッション	<div style="border: 1px dashed green; padding: 5px; text-align: center;"> 羅針盤シートの部門ミッション(中期的な方針)の内容がこの欄に入ります </div>
<p>あなたに求める 令和 年度の 具体的な目標</p>	<p>部門重点テーマ (部門ミッションから設定してください)</p> <hr/> <p>個人重点テーマ (成長記録シートⅡ・Ⅲを元に設定してください)</p> <div style="border: 1px dashed green; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>上司との面談の中で明日から何を意識しながら業務に取り組めば良いのか目標設定をします。 今年度より、『部門重点テーマ』と『個人重点テーマ』の項目を設けました。それぞれの項目について分析して記入してみましょう。</p> </div>

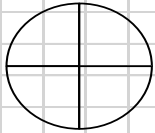
成長記録シートでスキルアップ支援

記入日	年	月	日	介護職	
部署	氏名		(現行等級)	等級)	

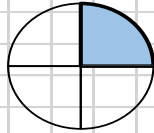
成長記録シートⅢ

※別紙行動事例を参考にしながらチェックを入れて下さい

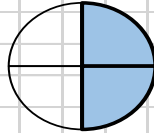
都度指導
が必要



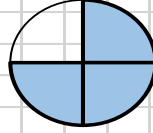
一人で出来る



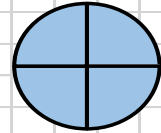
安心して
任せられる



提案・教育・
指導ができる

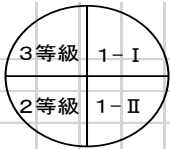


チーム全体で取り
組むことができる



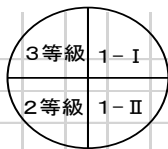
1.入浴介助

実施 ・ 未実施



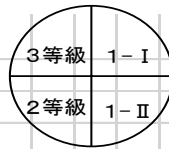
2.排泄介助

実施 ・ 未実施



3.食事介助

実施 ・ 未実施



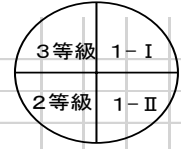
4.移動介助

実施 ・ 未実施



5.日常業務

実施 ・ 未実施



6.環境整備

実施 ・ 未実施



7.衛生管理

実施 ・ 未実施



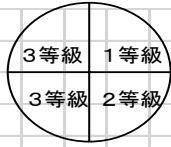
8.利用者との
コミュニケーション

実施 ・ 未実施



9.認知症ケア

実施 ・ 未実施



10.行事企画
レクリエーション

実施 ・ 未実施



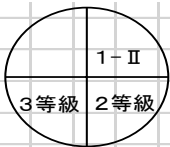
11.記録

実施 ・ 未実施



12.個別支援計画

実施 ・ 未実施



13.リスク管理
危険予測

実施 ・ 未実施



14.知識・技術の
フィードバック
自己啓発

実施 ・ 未実施



15.法令遵守
規則・基準

実施 ・ 未実施



知っている
実行して

16.地域活動
への参加

実施 ・ 未実施



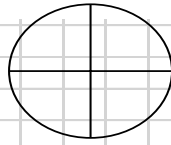
理解して
いる
考えている

17.車両の
運転技術

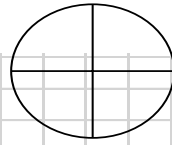
実施 ・ 未実施



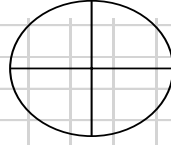
実施 ・ 未実施



実施 ・ 未実施



実施 ・ 未実施



具体的な行動事例(介護職)

チェック項目		模範的な行動を具体的に示してください。	
1	入浴介助	1等級	A)入浴前の全身状態の確認と、入浴中の体調変化に気が付き対応できる。 B)利用者にあった適切な行為・浴槽内移動・浴槽の出入り・洗体・洗髪方法を選択し、安全に介助することができる。
		2等級	特殊なケースについて、適した介護方法を検討・選択し、指導ができる。
		3等級	統一した介護ができているか確認し周知徹底させることができる。
2	排泄介助	1等級	A)排泄パターンを把握し、利用者にあった排泄計画を立てて、尊厳を傷つけない声掛けや介助ができ、安全に適切に行える。 B)排泄物の状態を確認し、必要に応じて報告・対応ができる。
		2等級	特殊なケースについて、適した介護方法を検討・選択し、指導ができる。
		3等級	統一した介護ができているか確認し周知徹底させることができる。
3	食事介助	1等級	A)利用者に適した食事形態を理解し、安全に楽しく食事を提供することができる。 B)利用者のペースに合わせて食事介助ができる。 C)食事中の異変に対しては早期に気が付き対応することができる。 D)食後の口腔ケアの介助が利用者に適した方法で支援できる。
		2等級	特殊なケースについて、適した介護方法を検討・選択し、指導ができる。
		3等級	統一した介護ができているか確認し周知徹底させることができる
4	移動介助	1等級	A)利用者に適した移乗方法を理解し、安心安全に介助することができる。 B)歩行時の介助方法を理解し、安心安全に介助することができる。 C)車いすの操作方法を理解し、安心安全に介助することができる。 D)残存機能を活かした介助ができる。 E)自立支援を促す介助・声掛けができる。
		2等級	特殊なケースについて、適した介護方法を検討・選択し、指導ができる。
		3等級	統一した介護ができているか確認し周知徹底させることができる。
5	日常業務	1等級	A)マニュアル等、日常業務を把握し、仕事の流れの意味を理解している。 B)優先順位を考え業務を遂行することができる。 C)状況により、他のスタッフの協力が必要となった時は、自分から協力を要請し業務が滞りなく行えるように調整できる。
		2等級	A)仕事の流れとその意味を職員に教えることができる。 B)業務改善の視点を持ち、提案できる。 C)状況を判断し、優先順位を考えほかの職員に指示を出すことができる。
		3等級	A)日常業務が常に一定のレベルで行えるように徹底できる。 B)業務改善提案、チェックシート等の改善提案等ができる。
6	環境整備	1等級	A)整理整頓、物品管理、設備管理、美化清掃ができる。 B)異変があれば報告をあげることができる。
		2等級	1等級項目の新人教育が出来る。
		3等級	チーム全体で取り組むことが出来る。

7	衛生管理	1等級	感染予防に関する知識を持ち、清潔・不潔を十分に理解したうえで毎日の定型的な衛生管理ができる。
		2等級	改善に向けての報告提案ができる。
		3等級	適した方法について部署内で検討し、改善案を提案することができる。
8	利用者とのコミュニケーション	1等級	A)利用者目線に合わせて、話を聞くことができる。 B)利用者の尊厳を傷つけない、丁寧な言葉遣いで、利用者がわかりやすい表現で伝えることができる。 C)相手の受け止め方を察して対応を変えることができる。 D)言葉の出しにくい利用者に対しては筆談など工夫してその方の思いを探ることができる。
		2等級	A)相手の話をささげずに最後まで聞くことができる。 B)言葉の出しにくい利用者に対しては、視線、仕草、表情などのあらゆるコミュニケーション手法を駆使して、その方の思いを探ることができる。 C)利用者とのコミュニケーションをとるためには、自己理解(自己覚知)が必要であることを理解している。 D)他のスタッフへコミュニケーションについてのアドバイスを行うことができる。
		3等級	スタッフに対してコミュニケーションについての個別指導を行うことができ、チームを引っ張ることができる。
9	認知症ケア	1等級	A)利用者の行動について『なぜだろう?』という疑問を持ち、その行動について理由を探ろうとしている。 B)利用者の訴えを否定せずに聞くことができる。
		2等級	利用者の生活歴や取り巻く環境を考慮し、ケアについて提案できる。
		3等級	疾患別の認知症ケアを理解し、部署内のケアの方向性を提案することができる。
10	行事企画 レクリエーション	1等級	A)通常行われているレクリエーションの実施ができる。 B)通常行われているレクリエーションの準備やリーダー役を担うことができる。
		2等級	小規模のレクリエーションの企画実施ができる。 ※小規模レクリエーションとは部署内で調整可能なレクリエーションや行事、部署を越えた調整が必要であっても、大掛かりな組織調整にまで至らないものをさす。
		3等級	大規模レクリエーションの企画実施ができる。 ※大規模レクリエーションとは複数部署との調整が必要な行事、組織を動かす必要性のあるものをさす。【例:餅つき・ユニット合同外出等】
11	記録	1等級	その日のあったことや気づきを記録に残すことができる。
		2等級	A)記録に残すべき内容を判断して、客観的かつ正確にわかりやすく、憶測や考察等に分けて、簡潔に記録することができる。 B)家族や他事業所への情報を文書で報告することができる。 C)記載されている事柄から、検討が必要な事柄を拾い出すことができる。
		3等級	新人やチームメンバーに対して、指導を行うことができる。
12	個別支援計画	1等級	A)利用者や家族の思いをもとに計画を立てようとしている。 B)期限を守り、一連の流れに沿って、個別支援計画の作成、説明、実施、評価を行うことができる。
		2等級	利用者や家族の思いを把握し、生活の状況を十分に観察し、情報収集を行ってアセスメントを行い、思いに沿った実現可能な目標を設定し、個別支援計画の作成、説明、実施、評価を行うことができる。
		3等級	A)個別支援計画に基づいた日々の過ごし方やプログラムを提案することができる。 B)部署内のメンバーのプランのスケジュールの把握を行い、進捗状況に応じて助言指導を行う。

13	危険予測	1等級	A)生活場面における危険(転倒、誤嚥、誤薬、他者とのトラブル、行方不明、異食等)を予測して行動できる。 B)環境整備や介護方法について、他スタッフと相談することができる。 C)事故が起こった場合はマニュアルに基づいて初期対応を行い、必要な応援を求め、記録・報告をすることができる。
		2等級	A)既に起きてしまった事故に対して、再発予防策を提案する。 B)生活場面における危険について指導できる。
		3等級	部署全体での事故防止対策を考え、リスク管理の提案や指導を行うことができる。
14	知識技術の フィード バック 自己啓発	1等級	A)疑問点や不安点を自分で調べたり、他者に質問や相談を行い、アドバイスや指導を受けることができる。 B)施設内や施設外の研修会にも積極的に参加し、業務に活かすことができる。
		2等級	A)自分の課題を見つけて、自ら取り組むことができる。また、自分の長所を伸ばすことができる。 B)目的をもって研修会に参加し、自己啓発や業務改善の提案を行うことができる。 C)法人研修の講師の一部を担うことができる。
		3等級	A)法人研修の講師を担うことができる。 B)自分の課題だけではなく、部署内の課題を見つけ、業務改善に向けて研修会に参加したり、研修内容について提案をすることができる。
15	法令遵守 規則・基準、	1等級	A)保健福祉諸制度に基づいて仕事を行っていることを知っている。 ※保健福祉諸制度について知っておく内容については、別途法人研修要綱に掲げることとする。
		2等級	1等級項目を実行することができる
		3等級	1等級項目の新人教育が出来る
16	地域活動 への 参加	1等級	A)くらしのハーモニーの考え方(地域生活の課題を解決しようとしている団体)であることを理解している。 B)初めの一歩として、施設内及び周辺を通行されている方とあいさつすることができる。
		2等級	地域住民の方と話し、地域での生活を知るために、どのような業務が必要かを、考えている。
		3等級	地域住民の方と話し、地域での生活を知るために、どのような業務が必要かを、考え実行している。
17	車両による 移送支援	1等級	A)交通ルール、マナーをもって車両を使用できる。また、法人の車両を使用していることを十分に理解し、節度ある行動をとることができる。 B)安全で確実な技術を身に付け、利用者を移送することができる。 C)リフト車の操作及び運転ができる。 D)車両に付属している機器(ストレッチャー等)を安全に使用することができる。
		2等級	事故や問題が発生した時に、正確に報告することができる。
		3等級	A)事故の問題が発生した時に、的確な判断および指示を出すことができる。 また、事故後のトラブル等の対応ができる。 B)車両による移送支援の指導・教育ができる。

記入日 年 月 日

相談職

部署

氏名

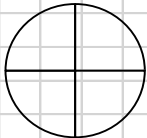
(現行等級)

等級)

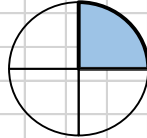
成長記録シートⅢ

※別紙行動事例を参考にしながらチェックを入れて下さい

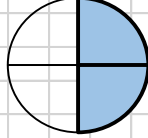
都度指導
が必要



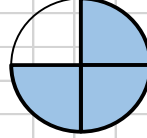
一人で出来る



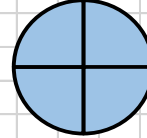
安心して
任せられる



新人教育が
できる

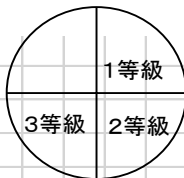


チーム全体で取り組
むことが出来る



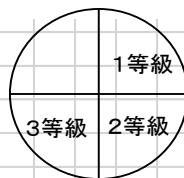
1.相談受付

実施・未実施



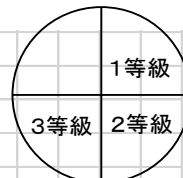
2.初回受付

実施・未実施



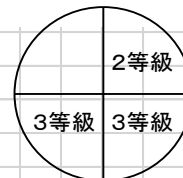
3.個別面接技法

実施・未実施



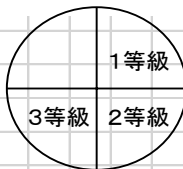
4.課題分析

実施・未実施



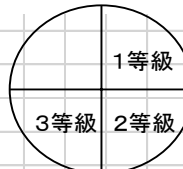
5.社会資源の把握

実施・未実施



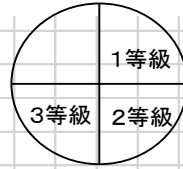
6.連絡調整

実施・未実施



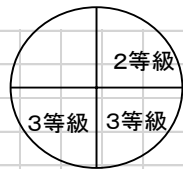
7.記録作成

実施・未実施



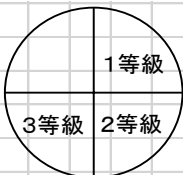
8.計画立案

実施・未実施



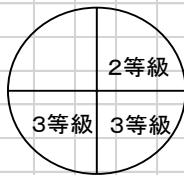
9.モニタリング

実施・未実施



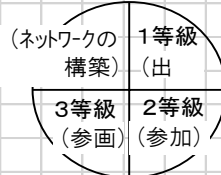
10.評価分析

実施・未実施



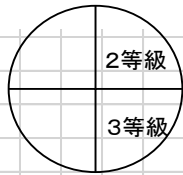
11.地域活動への参画

実施・未実施



12.知識・技術のフィードバック(法人内)

実施・未実施

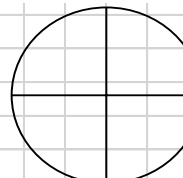


13.新たな社会資源の提案

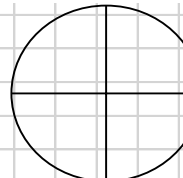
実施・未実施



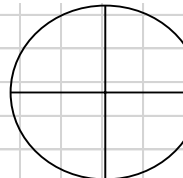
実施・未実施



実施・未実施



実施・未実施



具体的な行動事例

	チェック項目	模範的な行動を具体的に示してください。
1	相談受付	電話や来所の際に礼儀作法をわきまえた取り次ぎができる。相談の性質を整理できる。個人情報取り扱いについて理解している
2	初回受付	相談シート(インテーク表、他)の各項目を埋めることができる。キーパーソンを明確にできる。記録の要約ができ、ケースの概要が把握できる。
3	個別面接技法	<p>バイステックの7原則を理解している。</p> <p>① 個別化の原則 身体や疾患など、その方の課題の要因から経験や価値観だけで一方的に対応方針を決めるのではなく、その方の問題状況に応じて個別的な対応する。</p> <p>② 意図的な感情表出の原則 その方の考えや感情(肯定的な感情も否定的な感情も)を自由に表現できるように働きかけ、その方の感情表現を大切に扱う。</p> <p>③ 制御された情緒関与の原則 自身の感情を自覚しながら、その方の表出した感情を受容的・共感的に受け止める。相手の立場にどっぷりはまり込んで問題が見えなくなるのではなく(同情)、適切な距離を置いて相手の立場や感情に想いを馳せる(共感)。「あなたの気持ちは分からないけど、分かろうと思うよ。分かろうと努力するよ」など。</p> <p>④ 非審判的態度の原則 その方の言動や行動を、一般の価値基準や援助者自身の価値基準でよし悪しを判断せず、一方的に非難しない。その方が今何を大切にしているかを受け止めたうえで、選択肢を示し(情報提供)、一緒に考えていく(説明と同意)。</p> <p>⑤ 自己決定の原則 その方の意思に基づく決定ができるように援助する。さまざまな選択肢を用意するなど自己決定の条件整備を行い、その方が自分で選んだ決定事項を尊重する。</p> <p>⑥ 秘密保持の原則 その方の言動や状況を秘密(プライバシー)として守る。秘密(プライバシー)が守られることが保証されることは「意図的な感情表出」につながる可能性があることを知る。</p> <p>⑦ 専門的援助関係の原則 個人的な関心・興味から関わるのではなく、常に専門職としての態度で臨む。</p>
4	課題分析	各部門のアセスメントツールが活用でき、確認できた客観的事実・課題について優先順位を明確化できる。疾病や制度についての最低限の知識を有している。
5	社会資源の把握	ケースに関わっている間、常に社会資源の把握に努めている。また、その社会資源について把握するだけでなく、ネットワークを構築することができる。
6	連絡調整	対外対内の連絡調整ができる。
7	記録作成	記録の目的が理解できており、伝達・共有することを視野に入れて記録できる(5W1H・要約・ポイント、ほか)。
8	計画立案	ケアマネジメントの仕組みについて理解している。一人ひとりの生活状況と改善イメージに沿った個別計画を作成できる(見直し、解決すべきニーズの言語化)。
9	モニタリング	立案した計画とその実践について振り返ることの意味を理解している。必須業務だから、ということではなく、個別のポイントに応じた情報(プランの進捗状況など)を的確に収集できる。
10	評価分析	モニタリングで得られた情報をもとに、必要に応じて計画の継続または変更について判断できる。
11	地域活動への参画	出席、参加、参画、ネットワーク構築ができています。共通項目の“外部との連携”に加えて、地域の窓口部門であることを自覚して地域活動している。
12	知識・技術のフィードバック(法人内)	相談援助職としての経験やスキルを活かし、研修や勉強会などの機会を通じてその技術や知識をフィードバックできる。
13	新たな社会資源の提案	社会資源の把握と地域活動で得られた圏域の状況に応じて、新たな社会資源創設に向けて提案できる。

記入日 年 月 日

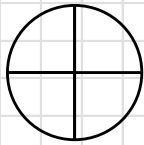
PT・OT・ST

部署 氏名 (現行等級 等級)

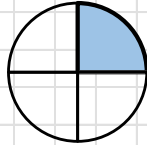
成長記録シートⅢ

※別紙行動事例を参考にしながらチェックを入れて下さい

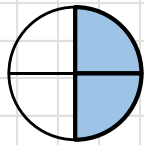
都度指導
が必要



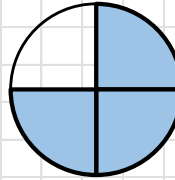
一人で出来る



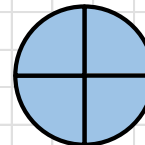
安心して
任せられる



提案・教育・



チーム全体で取り
組むことが出来る



1. コミュニケー
ション

実施 ・ 未実施



2. 評価
(心身機能)

実施 ・ 未実施



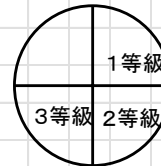
3. 評価
(ADL)

実施 ・ 未実施



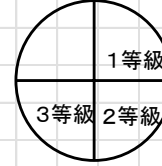
4. リハ計画
の作成

実施 ・ 未実施



5. 個別訓練

実施 ・ 未実施



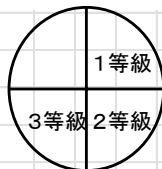
6. 集団訓練

実施 ・ 未実施



7. 環境設定

実施 ・ 未実施



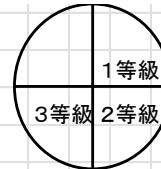
8. 福祉機器

実施 ・ 未実施



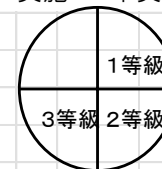
9. 記録

実施 ・ 未実施



10. ケアプラン
の共同作成

実施 ・ 未実施



11. カンファレンス
(施設内担当者会議)

実施 ・ 未実施



12. 担当者会議
(施設外)

実施 ・ 未実施



13. 他職種
との連携

実施 ・ 未実施



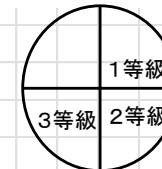
14. 家族指導

実施 ・ 未実施



15. 教育・研修

実施 ・ 未実施

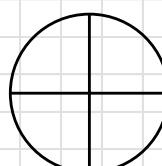


16. リハ部の知識・
技術のレベルアップ

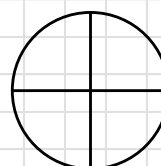
実施 ・ 未実施



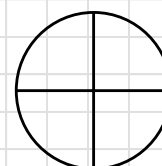
実施 ・ 未実施



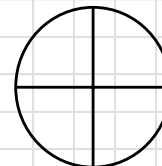
実施 ・ 未実施



実施 ・ 未実施



実施 ・ 未実施



具体的な行動事例

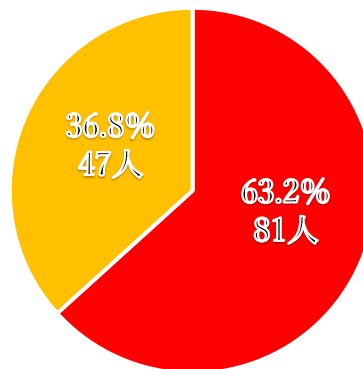
チェック項目	模範的な行動を具体的に示してください。
1 コミュニケーション	リハ計画作成のために、ニーズを引き出し、訓練や環境調整を行うための信頼関係を築くことができる。
2 評価(心身機能)	身体機能、心肺機能、認知機能、摂食嚥下機能も含め、トータル的に評価をすることができる。
3 評価(ADL)	在宅生活を視野に入れた、日常生活動作の評価をすることができる。
4 リハ計画の作成	評価に基づいて課題を抽出して、予後予測をした上で目標を設定しプログラムを立てることができる。
5 個別訓練	計画に基づいて、機能訓練の他、在宅や施設の生活に必要な日常生活動作の訓練、応用的な歩行や動作などの個別訓練ができる。
6 集団訓練	個々の特性を理解し、集団を活かした活動を提供をすることができる。
7 環境設定	利用者の能力が発揮されやすく、リスクの少ない環境設定やアドバイスをすることができる。
8 福祉機器	福祉機器の知識があり、利用者に適した福祉機器の提案やセッティングをすることができる。
9 記録	事実を簡潔に他職種にもわかりやすく記録することができる。
10 ケアプランの共同作成	医師、介護職、看護職等の他職種とADLやQOLの維持向上につながる達成可能な目標を設定し、具体的なケアプランの作成を協働で行うことができる。
11 カンファレンス(施設内担当者会議)	<ul style="list-style-type: none"> ・予後予測をふまえてADLやQOLの維持向上に必要なことを他職種に伝えたり、議論することができる。 ・カンファレンスの内容をリハ計画に反映させることができる。
12 担当者会議(施設外)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境や生活様式を評価し、在宅生活のケアプランに活かしてもらえるように、情報の発信をすることができる。 ・担当者会議の内容をリハ計画に反映させることができる。
13 他職種との連携	<p>チームとして動くことができるように、他職種を巻き込むことができる。(信頼する、一緒に考える、目標を共有する、役割り分担する)</p> <p>1等級: 個別のケアチーム 2等級: アドバイスができる 3等級: 役割を振り分けることができる</p>
14 家族指導	ADL(できるADL・しているADL)やQOLについて家族に対して解りやすく説明し、具体的な介助方法および今後の課題や生活についてのアドバイスができる。
15 教育・研修	<p>部署内や他職種、施設外において、適切に教育・研修を行うことができる。</p> <p>1等級: 施設内研修の講師ができる 2等級: 施設外研修の講師ができる 3等級: 地域講座の講師ができる</p>
16 リハ部の知識・技術のレベルアップ	<p>1等級: 今の状態にとどまることなく、各分野に対し興味をもち、各種の研修に参加し、自己研鑽をすることができる</p> <p>2等級: 研修で得たものを部署内でフィードバックさせることができる</p> <p>3等級: 部署内の知識・技術を向上させるための行動計画を提案することができる</p>

数字で見る

くらしの



採用区分



■ 中途採用 ■ 新卒採用

職員平均年齢

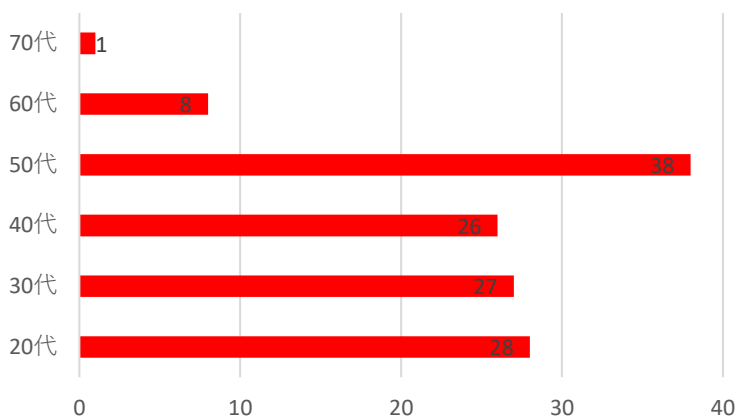


平均年齢

43.7歳

昨年より+1.1歳

正規職員 年齢ピラミッド



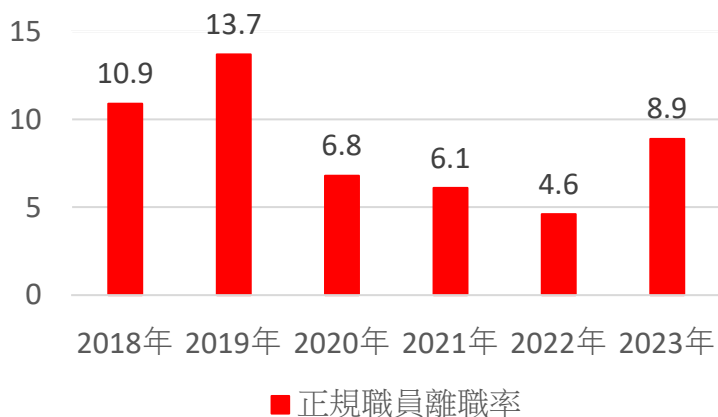
平均在職年数



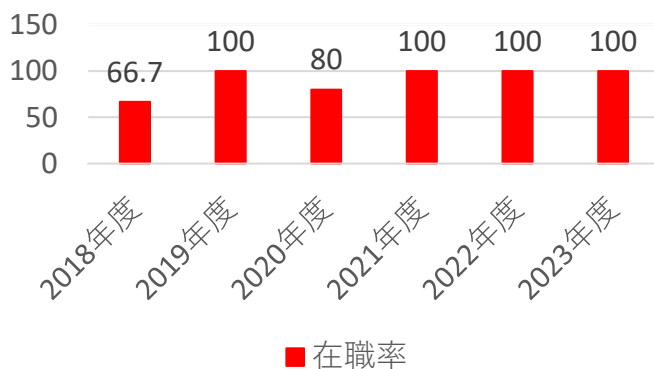
9.4年

昨年より+1.1年

正規職員離職率



新卒採用 福祉総合職 在職率



職員満足度調査

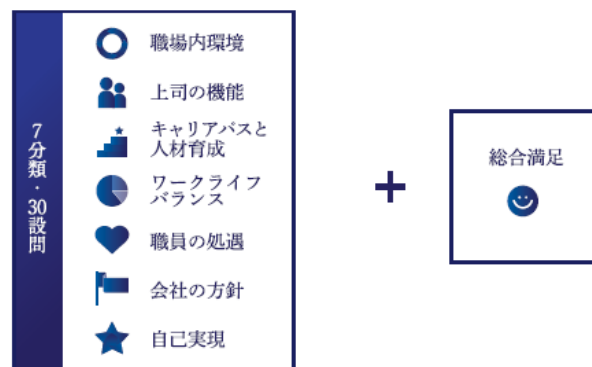
当法人は「京都府福祉職場 組織活性化プログラム」の職員アンケートを用いて職員の職場や仕事に対する思いを見える化し、その結果を法人内の組織活性化につなげています。

その結果

- 新卒福祉総合職採用者在職率100%（直近5年）
- 年次有給休暇取得率の向上 60%
- 若手職員や入職5年未満の満足度向上

と結果につながっていています。

- 正規職員の離職率の低下したものの、2023年度に再度上昇したり、勤続年数の長いスタッフの負担感が法人全体の平均より低いなど課題があります。現在検討中です。



5.その通りだと思う 4.ややその通りだと思う 3.どちらとも言えない 2.あまりそう思わない 1.そうとは思わない

中位=3

↑↑ 法人全体の数値と比較して、0.4ポイント以上高い ↑ 法人全体の数値と比較して、0.2ポイント以上高い
 ↓↓ 法人全体の数値と比較して、0.4ポイント以上低い ↓ 法人全体の数値と比較して、0.2ポイント以上低い

年齢別	法人全体	20歳～	25歳～	30歳代	40歳代	50歳代
		24歳	29歳			以上
職場内環境	3.85	4.46↑↑	3.79	3.77	3.82	3.86
上司の機能	3.65	4.40↑↑	3.81	3.63	3.57	3.6
キャリアパスと人材育成	3.61	4.11↑↑	3.87↑	3.62	3.5	3.56
ワークライフバランス	3.71	3.94↑	3.49↓	3.61	3.75	3.73
職員の処遇	3.36	4.12↑↑	3.32	3.22	3.32	3.36
会社の方針	3.72	4.40↑↑	3.69	3.63	3.63	3.72
自己実現	3.66	4.19↑↑	3.5	3.45↓	3.52	3.76

勤続年数別	法人全体	3年未満	5年未満	5年～9年	10年～	20年以上
					19年	
職場内環境	3.85	4.18↑	3.92	3.77	3.63↓	3.85
上司の機能	3.65	4.16↑↑	3.89↑	3.45↓	3.32↓	3.56
キャリアパスと人材育成	3.61	3.94↑	3.65	3.42	3.54	3.59
ワークライフバランス	3.71	3.96↑	3.9	3.61	3.51↓	3.58
職員の処遇	3.36	3.84↑↑	3.49	3.23	3.09↓	3.21
会社の方針	3.72	4.02↑	3.86	3.57	3.55	3.71
自己実現	3.66	3.93↑	3.82	3.47	3.49	3.75

募集職種

■福祉総合職 3～5名：現場を必ず経験していただきます。

応募時に資格は必要ありません。

内定者には入職後、介護職員実務者研修取得の支援を行います。

研修費用は、全額法人負担 スクーリングは業務扱い

■リハビリテーション職 1名

入職時に作業療法士 もしくは理学療法士 入職時には資格必須 生活期リハビリに興味のある方

※不合格の際は、リハビリテーション職としての内定は取り消します。

勤務時間 シフト勤務【代表的な勤務時間】

①6：30～15：30②8：30～17：30

③9：00～18：00④12：00～21：00（休憩60分）

⑤16：30～9：30（休憩120分）

	月	火	水	木	金	土	日
デイ配属 8:30～17：30	日勤	日勤	週休	日勤	日勤	公休	日勤
2労働夜勤 老健入所 小規模多機能 グループホーム 定期巡回	早出 6:30～ 15:30	日勤 9:00 ～ 18:00	遅出 12:00 ～ 21:00	夜勤 16:30 ～	明 9：30	週休	公休
リハビリテーション職	日勤	日勤	週休	日勤	日勤	日勤	公休

休 日

4週8休 週40時間労働

夏季休暇3日【7月～9月】 冬期休暇4日【12月～2月】

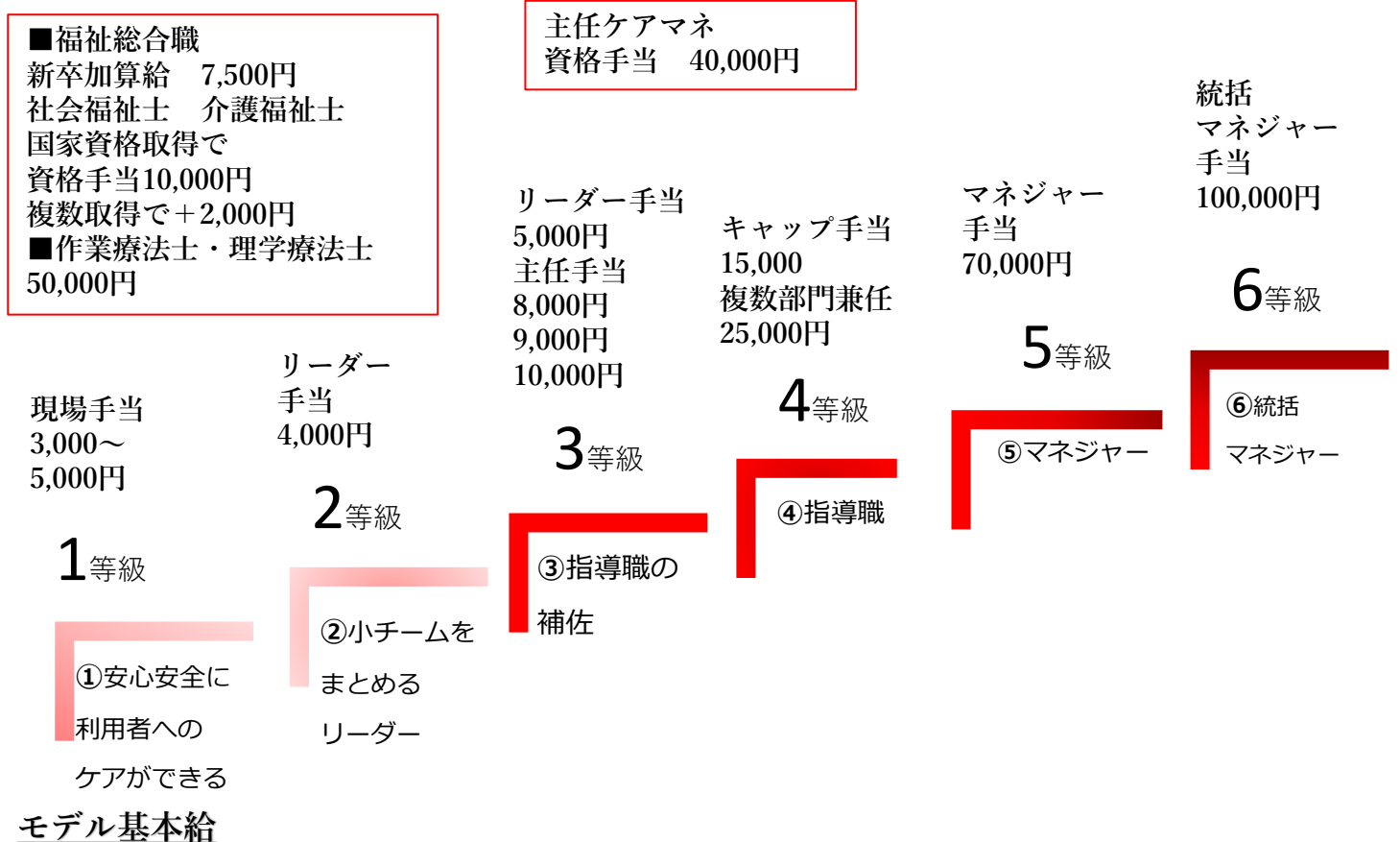
年間休日111日

有給休暇 初年度10日 育児・介護休業・看護休暇

慶弔休暇 育児時短勤務制度【小学校入学まで】

勤務時間繰り上げ繰り下げ

キャリアパス



基本給	153,000~173,700	5年後 174,300 ~ 199,700	10年後 190,900 ~ 218,000	13年後 202,100 ~253,900	20年後 233,500 ~ 275,100	25年後 259,900 ~ 年俸制へ移行
-----	-----------------	--------------------------------	---------------------------------	-----------------------------	---------------------------------	--------------------------------

賞与 (基本給 + 資格手当 + 役職手当) × 法人係数3.5 昨年度実績	賞与 (基本給 + 資格手当 + 役職手当) × 法人係数 3.5 昨年度実績
--	---

夜勤手当7,000円 深夜手当3,500円 宿直手当5,500円 年末年始手当3,000円

介護職：処遇改善手当 18,000~38,000円 サービス提供責任者加算 4,000円
 相談職：相談員加算+処遇改善=18,000円 介護支援専門員加算+処遇改善=21,000円
 リハビリテーション職：処遇改善=5,000円

住宅手当 賃貸上限23,500円 持家5,000円~3,500円 扶養手当：17,500円（配偶者）11,000円（配偶者なし1人目扶養者）6,000円（子ども）2,000円（その他配偶者）
 通勤手当 上限40,000円
 時間外勤務手当

1等級

デイ配属
一人暮らし 1年目
社会福祉士受験資格
精神保健福祉士受験資格

基本給	160,500円
加算給	7,500円
現場手当	5,000円
処遇改善手当	18,000円
住宅手当	23,500円
通勤手当	4,100円

(バイク通勤)

5km以上10km未満)
月額 218,600円

賞与初年度 2ヶ月
331,000円
年収 約295万円～

2等級

介護部へ異動
一人暮らし 4年目
介護福祉士合格
社会福祉士合格

基本給	168,300円
資格手当	12,000円
処遇改善手当	18,000円
夜勤手当	28,000円
住宅手当	23,500円
通勤手当	4,100円

(バイク通勤)

5km以上10km未満)
月額 253,900円

賞与 3.5ヶ月
589,050円
年収 約360万円～

2等級

介護部 ユニットリーダー
6年目 既婚子供なし
介護福祉士

基本給	174,300円
資格手当	10,000円
リーダー手当	4,000円
処遇改善手当	18,000円
夜勤手当	28,000円
住宅手当	23,500円
通勤手当	4,100円

(バイク通勤)

5km以上10km未満)
月額 261,900円

賞与 3.5ヶ月
610,050円
年収 約375万円～

3等級

入所 主任
介護福祉士
11年目
子ども1人 妻1人
既婚 持家

基本給	190,900円
資格手当	10,000円
主任手当	8,000円
処遇改善手当	38,000円
夜勤手当	28,000円
住宅手当	5,000円
扶養手当	23,500円
通勤手当	4,100円

(バイク通勤)

5km以上10km未満)
月額 307,500円

賞与 3.5ヶ月
752,040円
年収 約444万円～

4等級

キャップ 介護福祉士
介護支援専門員
14年目
子ども2人 妻1人
既婚 持家

基本給	202,100円
資格手当	12,000円
キャップ手当	15,000円
処遇改善手当	38,000円
夜勤手当	14,000円
住宅手当	3,500円
扶養手当	29,500円
通勤手当	4,100円

(バイク通勤)

5km以上10km未満)
月額 318,200円

賞与 3.5ヶ月
801,850円
年収 約462万円～

5等級

マネジャー
21年目
子ども2人 妻1人
既婚 持家

基本給	233,500円
資格手当	10,000円
管理職手当	70,000円
住宅手当	3,500円
扶養手当	29,500円
通勤手当	4,100円

(バイク通勤)

5km以上10km未満)

月額 350,600円

賞与 3.5ヶ月
1,062,250円
年収 約526万円～

6等級

統括マネジャー
26年目
子ども2人 妻1人
既婚 持家

基本給	259,000円
管理職手当	100,000円
住宅手当	3,500円
扶養手当	29,500円
通勤手当	4,100円

(バイク通勤)

5km以上10km未満)

月額 396,100円

賞与 3.5ヶ月
1,256,500円
年収 約600万円～

福利厚生

ハーモニー共済会

- ・健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・インフルエンザ予防接種支援
- ・腰痛ベルト購入支援・健康診断・ストレスチェック

法人の福利厚生費と職員の拠出金（月額500円）で活動を行っている、職員互助会です。

○職員行事 懇親会、スポーツ等の行事 納涼会 秋の懇親会 忘年会 新年会
今までの行事

- ・ボーリング大会・三条木屋町モリタ屋でのすき焼き
- ・四条 天壇での焼肉・東華菜館での中華
- ・亀岡けぶり川温泉でのランチバイキング・新都ホテル フレンチディナー
- ・レストラン菊水（京都南座向い洋食屋さん）
- ・オンライン寄席（吉本興業さん）
- ・記念品の配布



○共済給付

お誕生日プレゼント	2,000円の商品券
勤続5年表彰	10,000円の商品券
勤続10年表彰	30,000円の商品券
入院給付	1泊2日以上 3,000円

○サークル活動支援

○福利厚生資金の融資 全労済や近畿労金等の金融商品の紹介を行います

○その他 慶弔電報の送信

採用
情報について



@HARMONY_RECRUIT

法人全体の日常の
様子



@HARMONY_COMMUNITY

採用実績・在職者出身校

(順不同)

京都府立大学 福井県立大学 鳥取大学 奈良教育大学 京都工芸繊維大学 大阪外国語大学
兵庫県立大学 同志社大学 立命館大学 龍谷大学 京都産業大学 佛教大学 大谷大学 花園大学
日本福祉大学 京都光華女子大学 京都学園大学 京都大学 桃山学院大学 平安女学院大学
皇學館大學 関西外国語大学 京都文教大学 追手門学院大学 関西福祉大学 関西福祉科学大学
大阪産業大学 国際医療福祉大学 美作大学 帝塚山大学 京都橘大学 岐阜女子大学 京都女子大学
大阪経済大学 藍野大学 甲南女子大学 立正大学 大阪学院大学 京都精華大学 神戸学院大学
京都造形芸術大学 京都女子大学短期大学部 武庫川女子短期大学 成安女子短期大学
京都大学医療技術短期大学 神戸女子短期大学 華頂短期大学 京都経済短期大学 京都短期大学
龍谷大学短期大学部 聖母女学院短期大学 大阪成蹊短期大学 京都医健専門学校 京都福祉専門学校
京都医療福祉専門学校 キリスト教社会福祉専門学校 京都YMCA国際福祉専門学校



京都府が、安心して働ける福祉の職場を紹介する制度です。研修制度や働きやすさなどについて厳しいチェックを行います。全てのチェックポイントをクリアした法人が「認証法人」。より高度な基準をクリアすることによって認証されるのが「上位認証法人」です。私どもの法人は上位認証を取得しています。

担当窓口

社会福祉法人くらしのハーモニー

法人本部 広報・人材開発チーム

〒612-8495 京都府京都市伏見区久我森の宮町3-6

介護老人保健施設ハーモニーこが内

☎075-935-7100

e-mail honbu.kurashino.harmony@gmail.com

上埜 (うえの) 小辻 (こつじ) 松尾 (まつお)

くらしの

ハーモニー